

愛称・シンボルマーク表彰式開催

全国福祉用具専門相談員協会

全国福祉用具専門相談員協会(山下平会長)は2月21日、先ごろ決まった同協会の愛称とシンボルマークの「決定記念式典」を都内で開催した。愛称の候補には全国から953作品が寄せられ、愛称の飯尾敏男さんの「ふくせん」が最優秀賞に選ばれた。シンボルマークには207作品が集まり、新潟県の松岡光雄さんの作品が最優秀賞を受賞、シンボルマークとなった。

山下会長(左)から表彰される松岡光雄さん



当日は愛称、シンボルマークの佳作以上の受賞者が登壇、それぞれ山下会長から賞状が授与された。表彰式終了後記念式典では福祉ジャーナリストの東島弘子氏による「福祉用具



ふくせん
全国福祉用具専門相談員協会

決定したシンボルマークと愛称

専門相談員の実態調査」の報告、大阪市立大学大学院教授の白澤政和氏をコーディネーターとするトークセッションが行われ、来場した約500人の専門相談員は熱心に聴講していた。